

第45回東京都臨床細胞学会 スライドカンファレンス 子宮体部

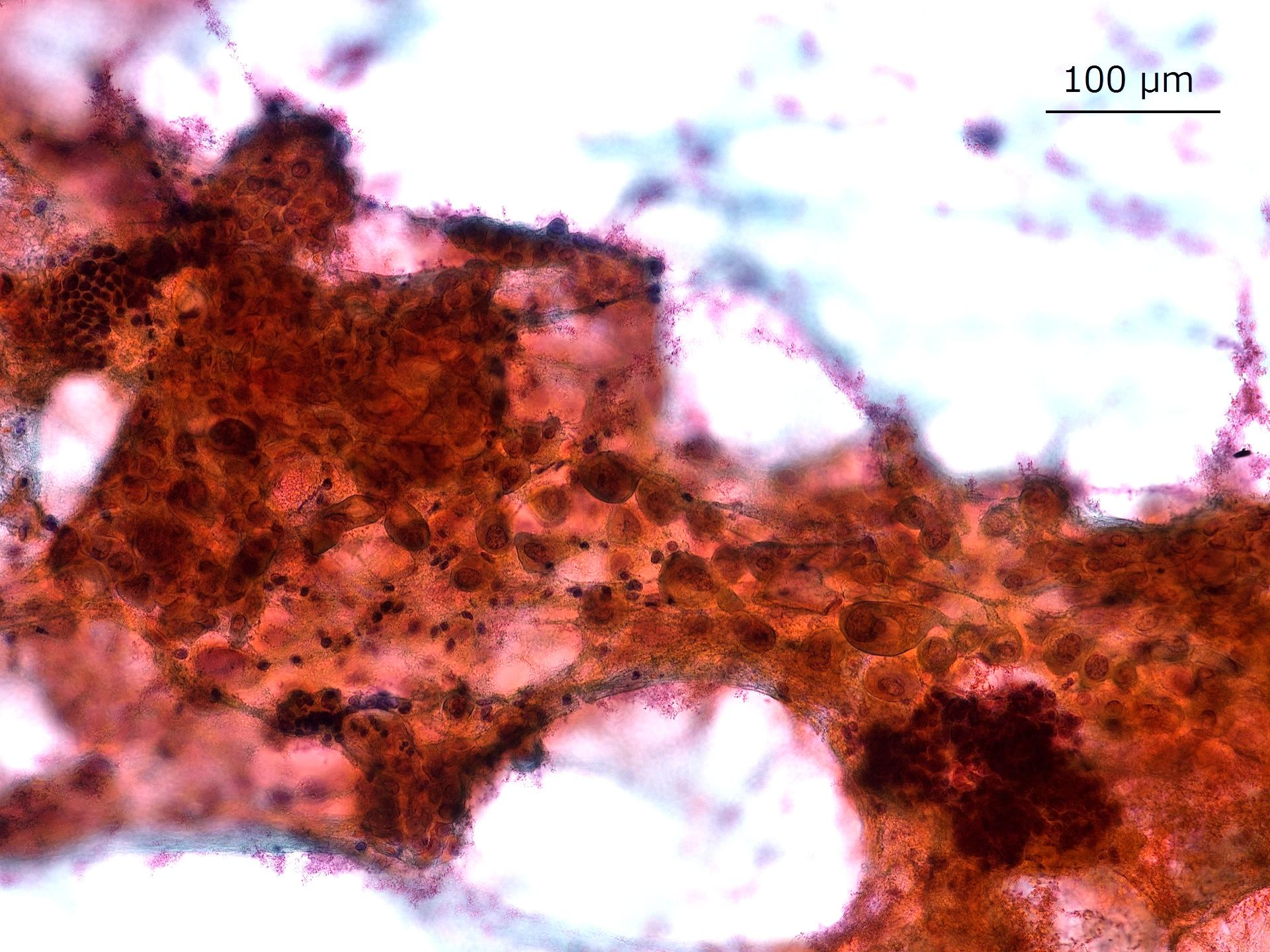
杏林大学医学部附属病院 病院病理部

渋谷 光

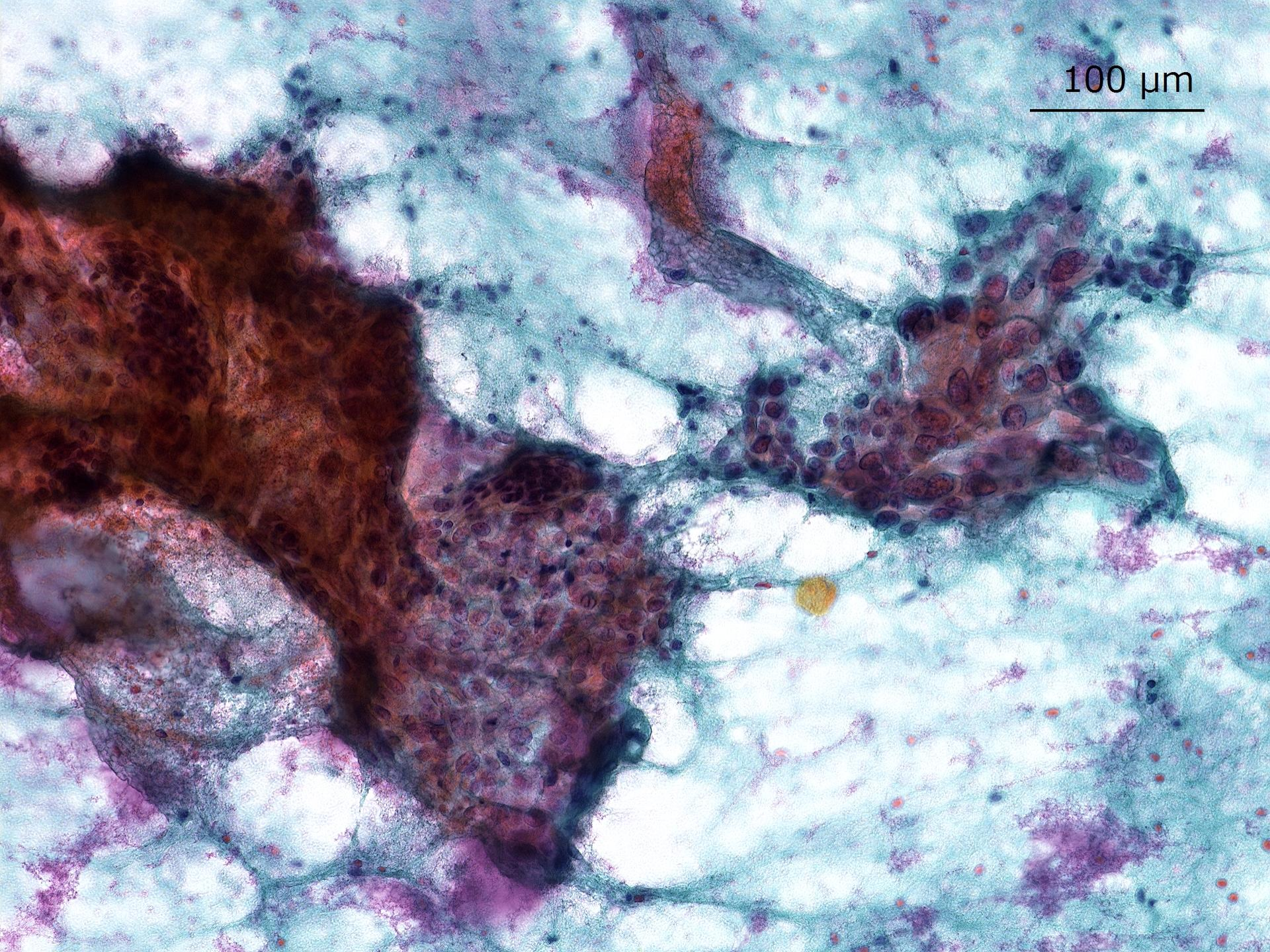
症例

- 年齢：40代
- 現病歴：急性骨髄性白血病
- 主訴：不正出血
- 経過：急性骨髄性白血病の治療中に不正出血がみられ子宮内膜細胞診を施行。
- 採取部位：子宮体部
- 検体採取法：エンドサーチ

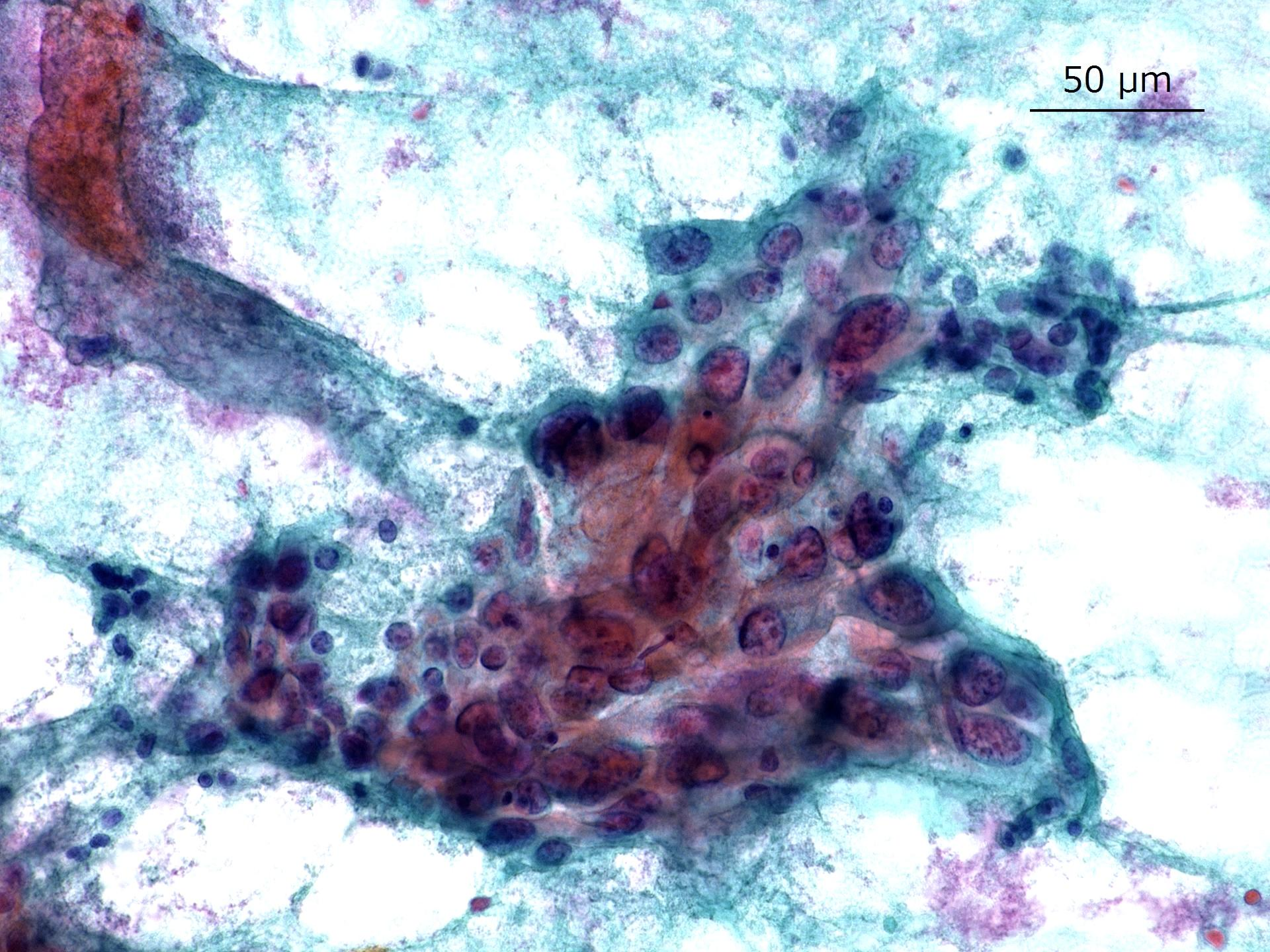
100 μm



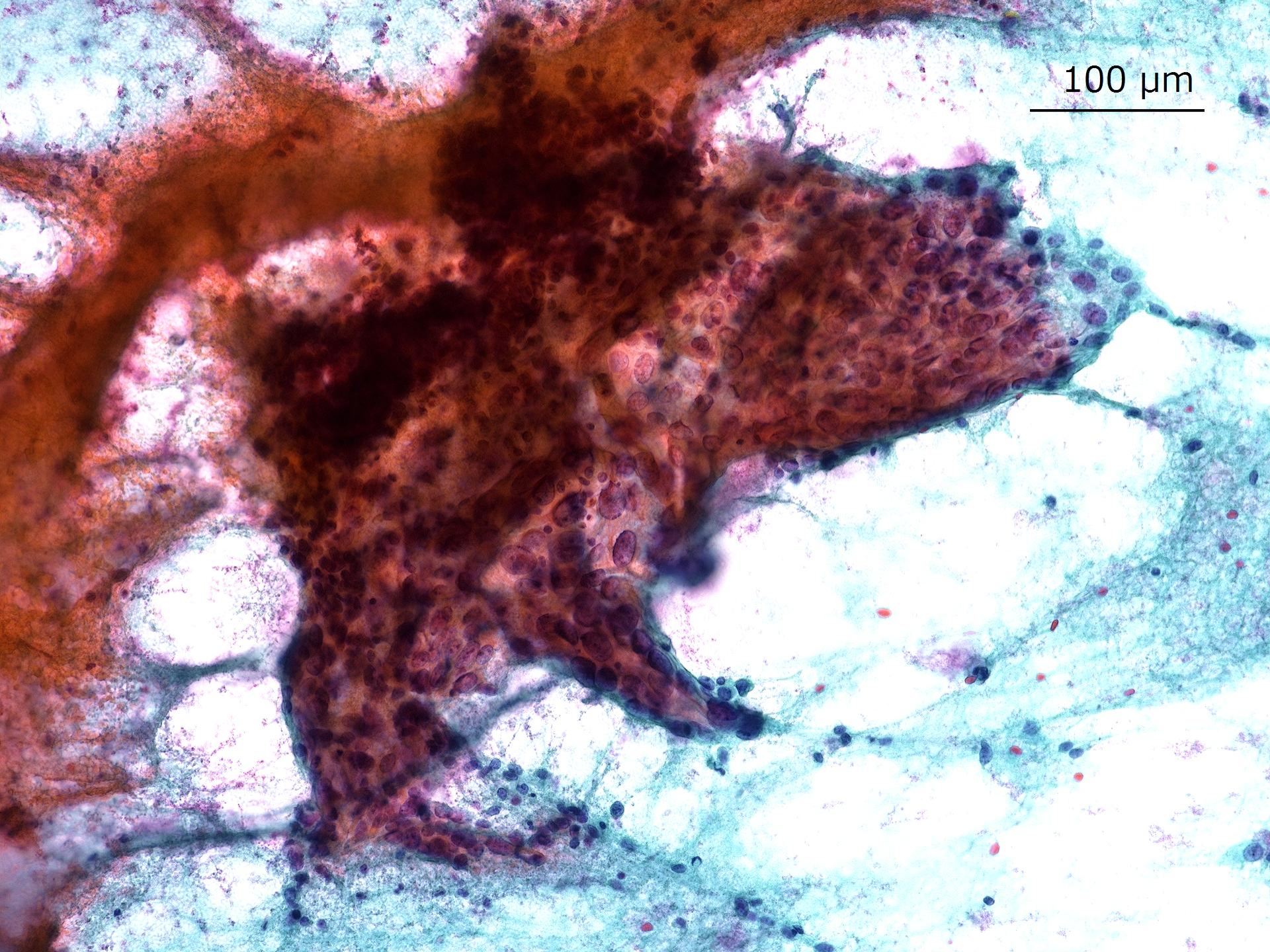
100 μm



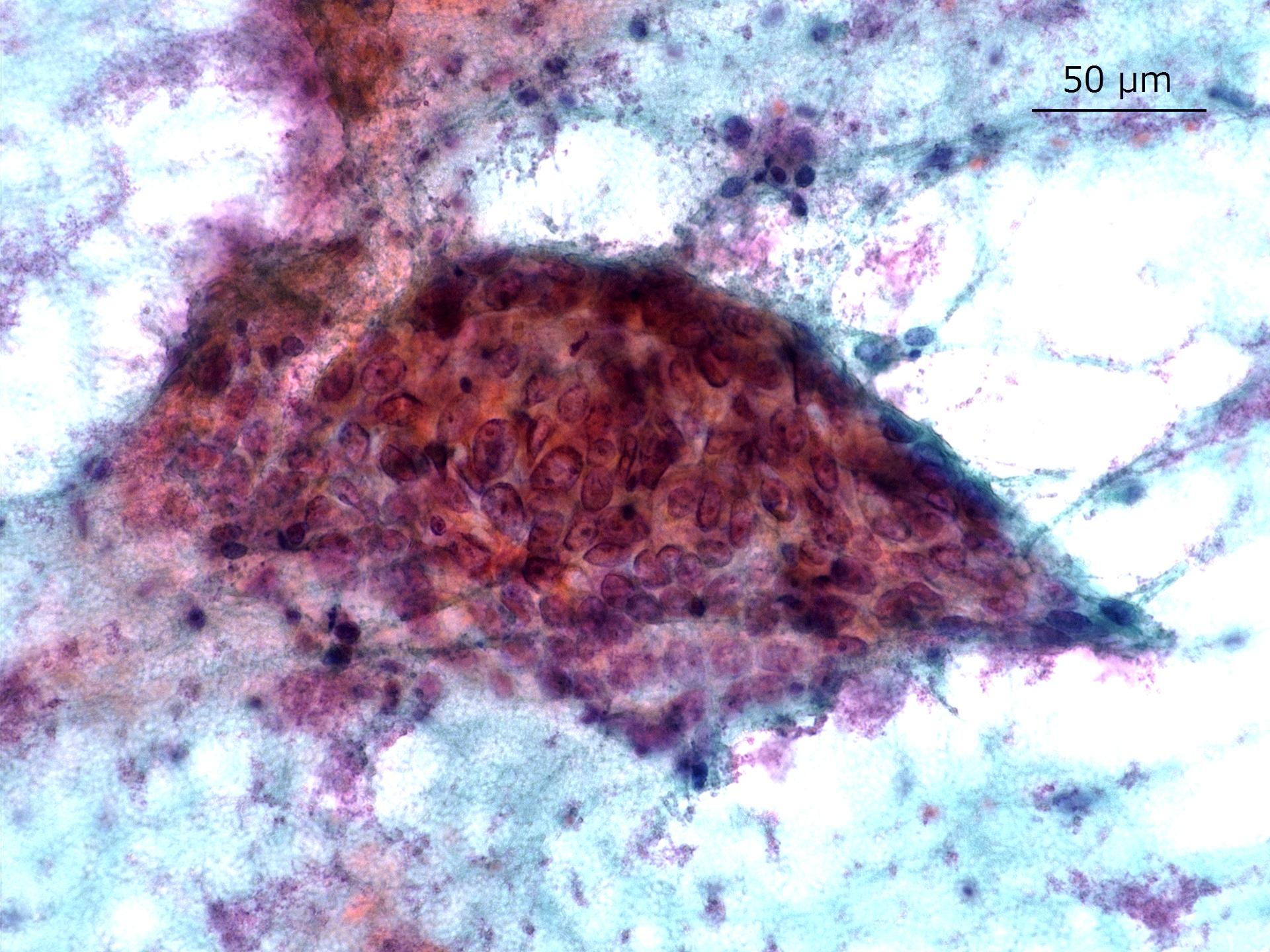
50 μm



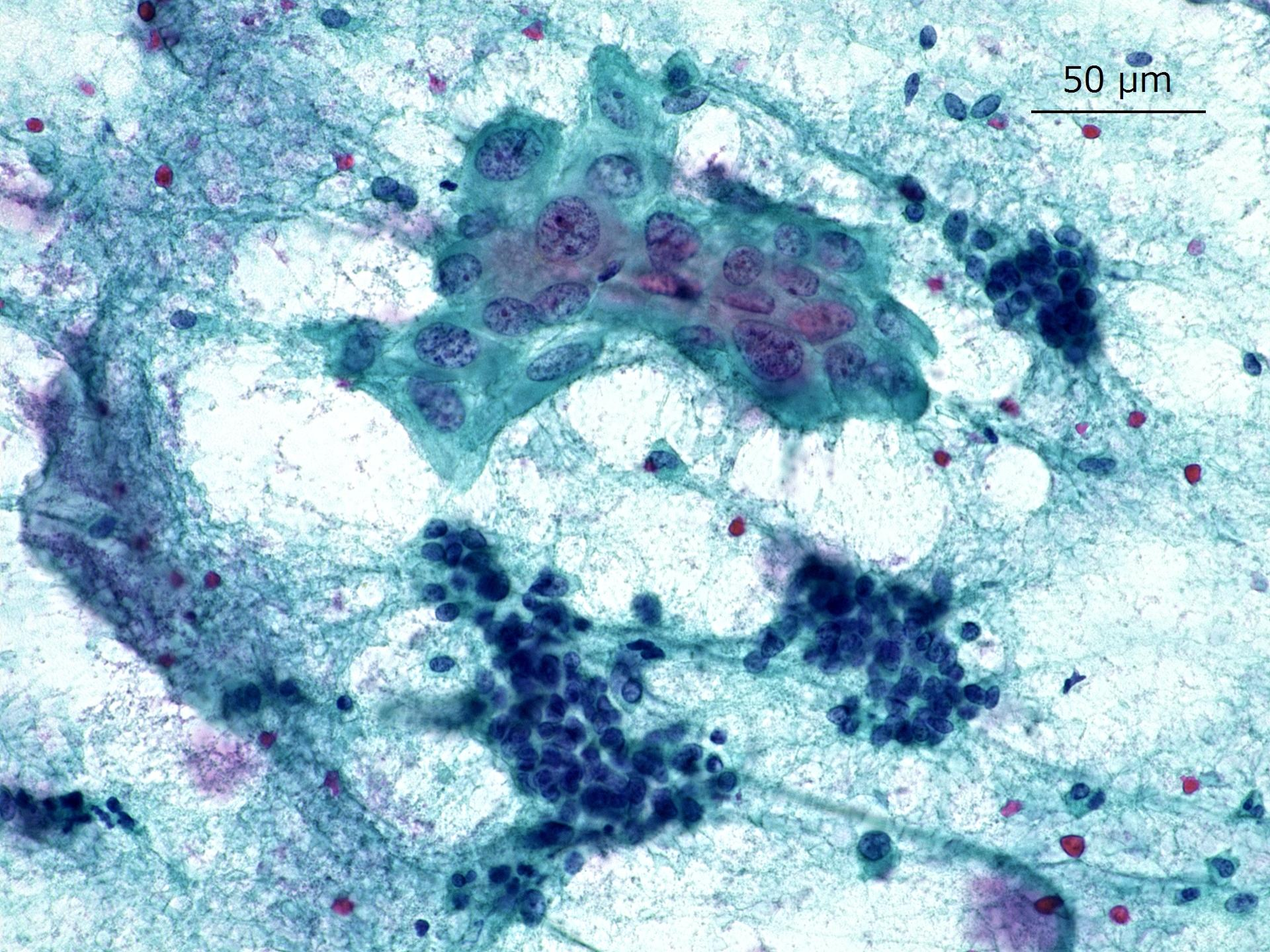
100 μm



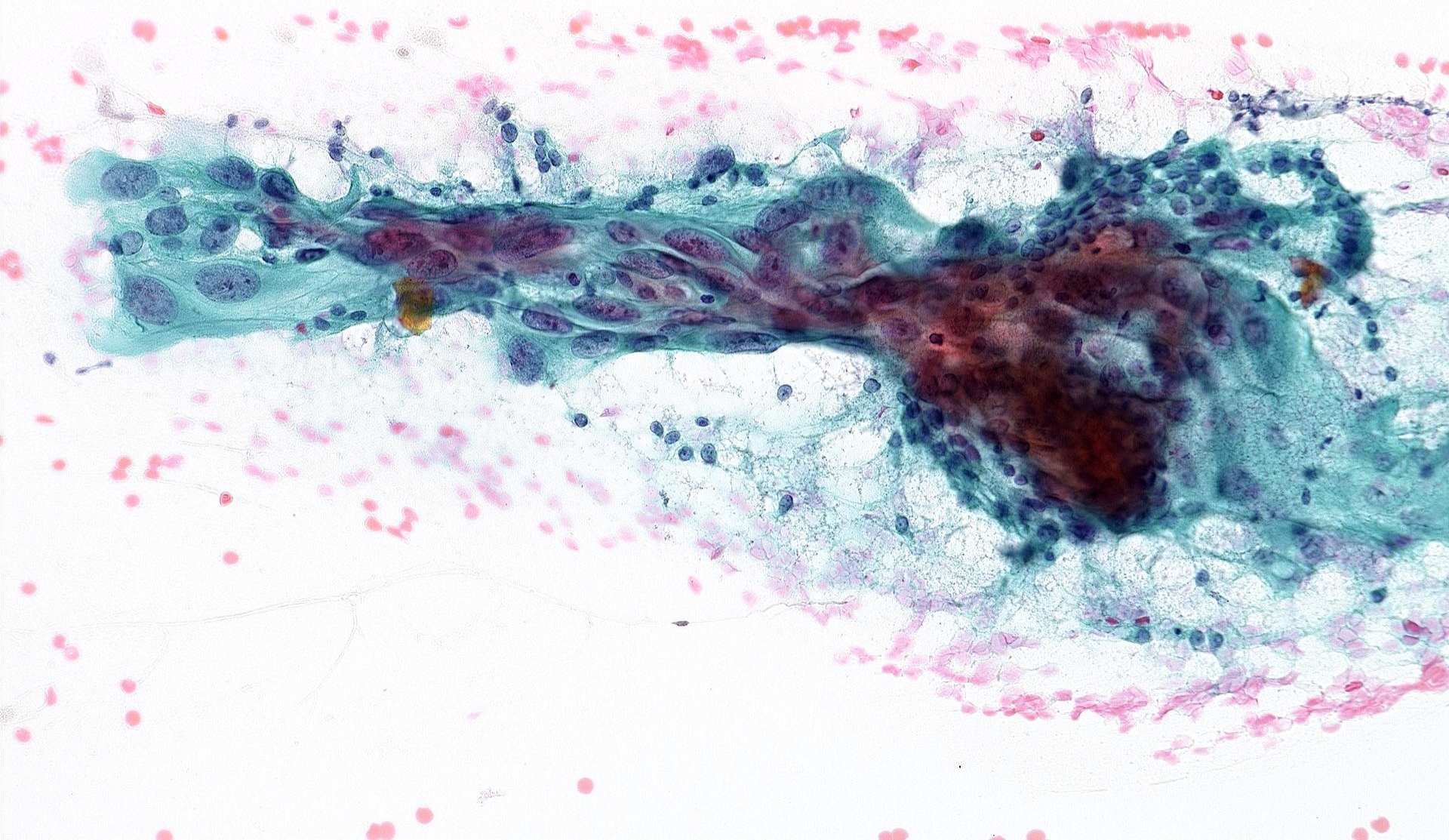
50 μm



50 μm



100 μm



選択肢

1. 反応性変化
2. 類内膜癌
3. 明細胞癌
4. 漿液性癌
5. 脱分化癌